

事業所向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表日： 2023年3月17日

事業所名 みつば園

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	基準となるスペースを有していますが、活動内容や人数に応じてグループや部屋を分けたりと、工夫しながら活用しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	基準となる人数配置を行っています。必要に応じて個別に対応する場合があります。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	全フロアーバリアフリーになっています。これからも過ごしやすい園を目指し、ご指摘があればひとつずつ改善していきたいと思えます。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	ミーティングの時間などに振り返りや、職員で話し合いを行い、多くの意見を日々の活動に反映できるように心がけています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者様の自己評価のご意見を参考に改善に努めています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	ホームページにて公開しています。

	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	他事業所の方のご意見も参考にし、改善や質の向上に努めています。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	年に一回職員研修や各会議の際に虐待防止研修やビジネスマナー研修などを行っています。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	お迎えの際にお話しをしたり、目標とする課題を記入していただいたりして、保護者の方の意見を取り入れながら作成しています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	利用者登録カードに記入していただき、状況把握に努めています。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	ミーティングの時間に職員全員で話し合い、みんなの意見を参考にプログラムを考えています。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	公園遊び、公園集団遊び、室内遊び、リトミック、制作などを固定化しないよう、ローテーションしながら活動しています。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	平日や長期休みのプログラムを変えたり、季節感を感じられるようにしています。また、利用時間の中で様々な経験、体験ができるように工夫しながら支援しています。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	発達や年齢に応じた個別活動と共に、集団で行う活動を組み合わせ計画を作成しています。

⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	送迎の確認や、その日の流れなど、事前に職員が把握できるよう努めています。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	活動後に職員で話し合う時間を作り、情報共有に努めています。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	毎日、日誌や個別記録に記録し、必要な情報を共有し、検証・改善に努めています。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	半年に一度モニタリングを行い、園でのミーティングの際に見直しを行っています。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	ガイドラインの基本活動を念頭に入れ、様々な経験ができるように工夫しています。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	児童発達支援管理責任者が参加するようにしています。
㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	学校のお迎え時には必ず申し送りを行い、情報の交換共有に努めています。
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	現在、医療的ケアが必要なお子様はいませんが、必要に応じて体制を整えていきます。

関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	児童発達支援事業所との情報共有を行っています。また、就学前の様子を把握することにも努めています。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	小学生を対象とするデイサービスの為、該当無です。進級時には次の事業所にスムーズに移行できるように努めています。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	児童発達支援事業所などと連携をとりながら助言を頂いています。
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	児童館の利用条件に従い利用しています。
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	現在参加はできていませんが、今後は参加していきたいと思えます。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	保護者の方と利用日には毎回申し送りを行い、発達の状況や課題について共通理解が図れるように努めています。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	日々の申し送りや、面談の中で相談・助言等を行っていきけるよう努めています。
	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に読み合わせを行い、わかりやすい説明ができるよう努めています。

保護者への説明責任等	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	相談があった際には、保護者の方のお話をよく伺い、適切な助言ができるよう努めています。
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	現在コロナ感染予防の為行えていませんが、状況をみながら交流する機会をもてたらと思います。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情があった際には、迅速に対応するよう努めています。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	みつば園だよりや長期休みの予定表などを発行し、活動内容や行事予定などの情報を発信しています。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	職員間で十分意識し合い、注意しながら取り扱っています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	説明書の作成や写真カード、タイマー等、お子様の特性に応じたツールを使っています。また、コミュニケーションも積極的にとれるように心がけています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	現在、コロナ感染予防の為交流する機会はありませんが、今後、状況を見ながら交流する機会をもっていきたいと思っています。
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	マニュアルを提示し、職員に周知しています。また、適切に伝えています。

非常時等の対応	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	年に二回の消防訓練の他に、毎月火災や地震を想定した訓練を行っています。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	虐待防止の研修を行うと共に、法人としての理念を周知できるようにしています。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	個別支援計画に記載し、保護者様に了承を得ています。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	アレルギー確認書という形で保護者の方から記入・提出していただいています。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハット事例があった時にはファイルに記入し、職員間で情報共有しています。